

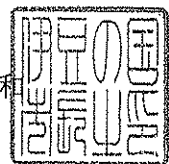


国土交通省道路局長 様

伊国建第 38 号

平成19年5月2日

伊豆の国市長 望月 良和



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について(回答)

貴職におかれましては、平素より市土木事業に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

標記の件について、平成19年4月2日付け国道企第114号で国土交通省道路局長から依頼を受けました「中期的な計画の作成にあたっての意見」を別紙のとおり提出いたします。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

### ○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・市内の一体化を進める幹線道路網の整備や生活道路の改良

国道、県道、市道が各々の役割を果たせるような改良整備に努めていただきたい。また、当市は、地方分権・生活圏の広域化などを目的として国が推し進めてきた「平成の大合併」の下に、一級河川狩野川を挟む三町が合併した市であることから、市民の一体化をより一層促進し、地域の連携を図るために有機的なネットワークの構築に努めていただきたい。更に、本市への内外からの流入・通過交通に対応するため基幹となる幹線道路網の整備促進を効率的に進めていただきたい。

### ・主要事業

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| ①道路網のネットワーク化 | ・幹線道路のネットワーク化の推進      |
|              | ・渋滞緩和を図るためのネットワーク化の推進 |
| ②国県道の整備の促進   | ・合併支援道路事業（県事業）の促進     |
| ③交差点の改良整備    | ・渋滞の緩和を図るための交差点改良の推進  |
| ④道路幅員の確保     | ・狭隘道路の改良              |
| ⑤橋梁の整備       | ・老朽化した橋梁架け替えの推進       |

### ○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### 重点化事業名 ・伊豆縦貫自動車道整備事業の早期完成

高速交通体系から取り残された伊豆地域は、東名及び新東名高速道路と東駿河湾環状線に連結することで、海・山などの自然環境や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆地域の発展に大きな役割を果たすとともに、伊豆地域の交通混雑緩和を図るなど、地域の道路網強化が期待される。

#### ・県道韮山伊豆長岡修善寺線道路改築事業

市内の南北を走る本路線の整備により、地域間の活発な交流を推進し、地域相互の広域的な連携強化を図り、市内を一体化した活気のあるまちづくりの担い手になる路線である。

#### ・国道136号バイパス(伊豆中央道)の無料化、江間IC開設促進

本路線を無料化し、誰もが利用できる一般道路化にすることと、江間ICを設け、フルインター化することにより、本線利用者を促進させることにより、流通コストを削減し、伊豆地域の活性化を図りたい。また、災害時の広域緊急輸送路としても大きな役割を果たしており、防災対策の充実を図る上でも重要な路線である。

○その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見

国道 136 号、国道 136 号バイパス(伊豆中央道)、国道 414 号、主要地方道伊東大仁線等の自動車交通に対応した幹線道路の整備が進められてきた。しかし、これら主要な道路の整備は安全で使いやすい身近な道路には遠く、住民の満足度は高いとは言えない。交通安全を図る観点からも自歩道の設置など、住民の生活道路として整備を望む要望が高くなっている。

市においても、狹隘道路の解消や合併による旧町間を連結する道路改良を積極的に進めていく必要を感じている。